

令和3年7月30日

令和3年 長崎平和宣言（骨子）

- 被爆者（小崎登明氏）が手記に綴った核兵器廃絶への強い思い
- 発効した核兵器禁止条約を世界の共通ルールに育てるためのプロセスが始まるという認識の共有
- 核保有国間の核軍拡に向けた動きに対する危機感の表明
- 日本政府と国会議員へ、核兵器禁止条約第1回締約国会議へのオブザーバー参加及び条約への署名・批准並びに日本国憲法の平和理念堅持の訴え、「北東アジア非核兵器地帯」構築の検討を要請
- 核保有国と核の傘の下にいる国々のリーダーへ、次の核不拡散条約（NPT）再検討会議で核軍縮を実質的に進展させるよう要請
- すべての人々に向けて、核兵器の危険についても行動すべき時がきているのではないかとの問題提起
- 「長崎を最後の被爆地に」の言葉に込められた意味を世界の人々と共有し、核兵器廃絶に向おうと強く呼びかけるとともに、原爆の記憶を継承し続けていく長崎の決意表明
- 日本政府へ被爆者援護充実と被爆体験者救済の要請並びに震災から10年が経過した福島への応援
- 原爆犠牲者への追悼と、連帯により「平和の文化」を広め、核兵器廃絶・恒久平和実現に向け力を尽くすことへの決意表明